



2026 年 9 月 14 日

各 位

会 社 名 t r i p l a 株 式 会 社
 代 表 者 名 代表取締役 CEO 高 橋 和 久
 代表取締役 CFO 鳥 生 格
 (コード番号：5136 東証グロース市場)
 問い合わせ先 執行役員 CFO 田 中 大 樹
 TEL. 03-6276-6553

2026 年 10 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 9 月 14 日開催の取締役会において、直近の業績動向を踏まえ、2026 年 6 月 15 日に公表いたしました 2026 年 10 月期(2025 年 11 月 1 日～2026 年 10 月 31 日)の業績予想を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 10 月期通期連結業績予想の修正(2025 年 11 月 1 日～2026 年 10 月 31 日)

(百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	3,501	822	927	601	101.61
今回発表予想 (B)	3,608	1,029	1,171	766	129.26
増減額 (B－A)	106	207	244	164	—
増減率 (%)	3.1	25.2	26.3	27.3	—
(参考) 前期実績 (2025 年 10 月期)	2,573	519	583	501	85.34

2. 業績予想修正の理由

2026 年 6 月 15 日に公表いたしました前回の業績予想の修正におきましては、第 2 四半期累計期間の実績が計画を上回ったものの、国際情勢の不透明感が宿泊需要に与える影響を慎重に見極める必要があるとの判断のもと、下期の営業収益は期初計画を据え置き、費用効率の改善分及び事前決済による預り金残高の増加に伴う受取利息等の営業外収益の増加分を反映するにとどめておりました。

第 3 四半期累計期間におきましては、ゴールデンウィーク期間、夏季休暇前及び夏季休暇期間の宿泊需要がいずれも堅調に推移し、tripla Book の取扱高・GMV(Gross Merchandise Value)は計画を上回る水準で拡大いたしました。また、Take Rate につきましても、期初計画の 1.56%に対し第 3 四半期累計期間の実績は 1.65%となり、取扱高の拡大と収益性の向上が同時に進展しております。前回の修正時に想定しておりました国際情勢等のマクロ要因による需要面の下振れリスクは、現時点において顕在化しておらず、予約の先行状況を含む主要な経営指標につきましても計画を上回る進捗となっております。

こうした事業の進捗を踏まえ、今回の修正におきましては下期の営業収益につきましても上方修正することとし、通期の営業収益予想を 3,608 百万円(増減率+3.1%)に修正いたします。

費用につきましては、サーバー費用等のインフラ関連費用の見直しを継続的に進めた結果、費用効率が一層改善しております。これらの結果、営業利益の通期予想を 1,029 百万円(増減率+25.2%)に修正いたします。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の営業利益の増加に加え、tripla Book の取扱高の増加及び事前決済比率の向上に伴い預り金残高が引き続き増加していることを反映する一方、受取利息及び為替差益につきましては直近の金利水準及び為替レートを保守的に勘案したうえで、通期予想をそれぞれ 1,171 百万円(増減率+26.3%)、766 百万円(増減率

+27.3%)に修正いたします。

なお、本修正は、有価証券上場規程に定める業績予想の修正に係る開示基準に該当するものではありませんが、第3四半期累計期間の進捗状況を踏まえ、投資家の皆様により正確な情報をご提供する観点から、任意に開示するものであります。

宿泊需要は国際情勢及び外国為替相場の動向による影響を受けやすく、先行きには引き続き不確実性が存在いたします。当社といたしましては、これらの動向を注視のうえ、必要に応じて速やかに業績予想の見直しを実施いたします。

これらの結果、連結業績について、1. 2026年10月期通期連結業績予想の修正(2025年11月1日～2026年10月31日)のとおり修正することを決定いたしました。

なお、合わせて、本お知らせと同日に開示しております2026年10月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)及び2026年10月期第3四半期決算説明資料をご確認くださいよう、お願いいたします。

以上